

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

2024/6/27

りそなホールディングス 市場企画部

担当: 渋谷 和樹

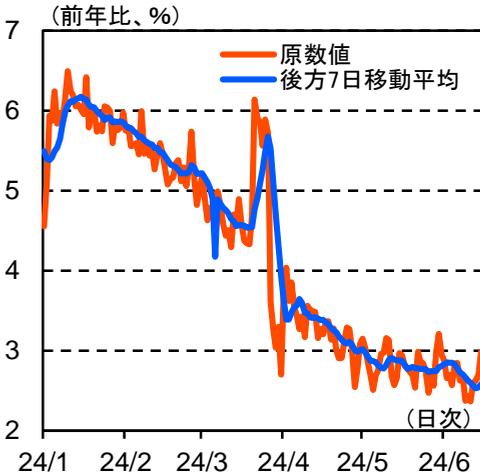


(日米欧 Market View : 5月物価オルタナティブデータ～日経CPINow)

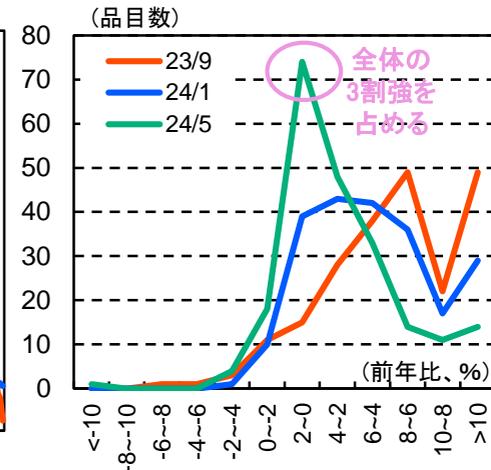
◎物価先行指標は2%台に低下も、今後は円安の影響に注意

- ▶ 我が国の食料や日用品に関する物価動向を確認する高頻度データとして、全国のスーパーマーケットなど小売店のPOSデータをもとに作成されるナウキャスト社の日経CPINowがある。同指標によれば、物価上昇率は5月に入っても減少傾向が続き、おおむね2%台で推移している(図表1)。また、品目別に物価上昇率の分布を確認すると、前年比0~2%が最も多く全体の3割強を占めた(図表2)。時系列で見ると、昨年時点では多くの品目で高い物価上昇率を示していたのに対し、現在は物価上昇の裾野が狭まってきている。
- ▶ 次に、日経CPINowをCPIの食料項目(生鮮食品と外食を除く)と比較すると、最新のデータにおいても両者の動きはおおむね一致し、5月時点でCPIも上昇率が4%を割り込む水準にまで低下していることがわかる(図表3)。ところで、22年に始まった食料インフレは円安等による輸入物価の上昇に端を発したものであった。輸入物価の上昇は23年に一旦収まったものの、直近では再び名目実効為替レートが大きく下落、すなわち円安が進行している。この影響を受けて食料の輸入物価も再び上昇してきており、今後食料物価のインフレが再燃する可能性も十分あるとみる。
- ▶ CPIの食料項目が全体の変動にどの程度影響するかを確認するため、生鮮食品を除くCPI総合(コアCPI)変化率を寄与度分解した(図表4)。コアCPI構成品目のうち食料が占める割合は継続的に低下してきており、4月以降、コアCPIに対する寄与度が一番大きい項目はサービスに取って代わっている。しかし、上記でも指摘したように円安進行の影響を受けて再度食料価格のインフレが再燃すれば、想定以上にコアCPIが上振れる可能性をはらむ。日銀は「現時点では円安は基調的な物価上昇に大きな影響は与えていない」としながらも、「上振れリスクも出てきている」と警戒感を高めている。
- ▶ 実質賃金がプラス圏内に浮上してこないなかで想定よりも物価が上振れれば、消費にさらなる悪影響を与える形で経済が冷え込みかねない。今後円安の進行に反応して日経CPINowが反転上昇を始めれば、日銀の追加利上げが迫っていると判断できるかもしれない。

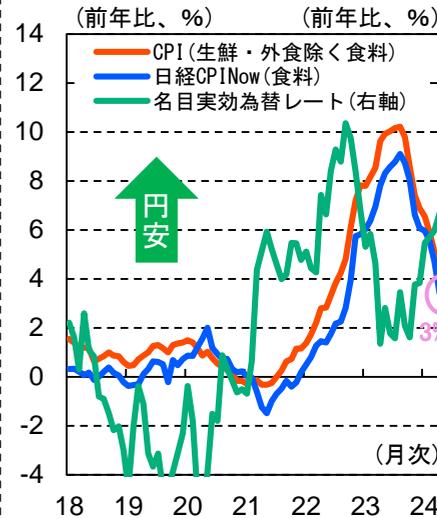
【図表1: 日経CPINow日次推移】



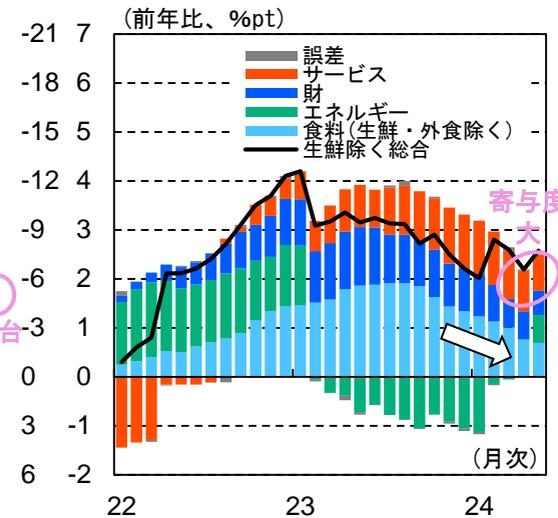
【図表2: 日経CPINow品目別上昇率分布】



【図表3: 日経CPINowとCPI食料】



【図表4: コアCPI変化率の寄与度】



出所: 株式会社ナウキャスト『日経CPINow』、総務省『消費者物価指数』、Bloomberg

注: 図表3のCPI(生鮮・外食除く食料)は2014年の消費税増税の影響を除く処理を行っている。また、日経CPINow(食料)は、日経CPINow全品目のうち食料項目のみ集計したものを使用している。

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(日米欧 Market View : 5月物価オルタナティブデータ～日経CPINow)

■バックナンバー(直近発行レポート30本)

| No | 発行日 | テーマ | タイトル |
|----|-----------|-----------|--|
| 4 | 2024/4/19 | 日本株 | 日米Market View : 日本株需給 |
| 5 | 2024/4/22 | 米国株 | 日米Market View : シリコンサイクルから見る米ハイテク株の展望 |
| 6 | 2024/4/23 | 日本株 | 日米Market View : 日本株バリュエーション |
| 7 | 2024/4/26 | 日本株 | 日米Market View : 日本株需給 |
| 8 | 2024/5/2 | 米国経済 | 日米Market View : 5月FOMC |
| 9 | 2024/5/7 | 米国経済, 米国株 | 日米Market View : 米国のAIブームはITバブルと同じ末路を辿るのか？ |
| 10 | 2024/5/13 | 日本株 | 日米Market View : 日本株需給 |
| 11 | 2024/5/13 | 日本経済 | 日米Market View : オルタナティブデータの活用～日経CPINow |
| 12 | 2024/5/16 | 日本株 | 日米Market View : 3月決算企業の本決算と日本株への影響 |
| 13 | 2024/5/17 | 日本株 | 日米Market View : 日本株需給 |
| 14 | 2024/5/20 | 日本株 | 日米Market View : TOPIX採用企業の株主還元 |
| 15 | 2024/5/21 | 日本経済 | 日米Market View : オルタナティブデータの活用～HRog賃金Now |
| 16 | 2024/5/23 | 米国株 | 日米Market View : エヌビディアの決算とマーケットへの影響 |
| 17 | 2024/5/24 | 日本株 | 日米Market View : 日本株需給 |
| 18 | 2024/5/30 | 日本株 | 日米 Market View : セクター動向 |
| 19 | 2024/5/30 | 欧州経済 | 日米欧 Market View : ユーロ圏賃金動向 |
| 20 | 2024/5/31 | 日本株 | 日米欧 Market View : 日本株需給 |
| 21 | 2024/5/31 | 日本株 | 日米欧 Market View : 日本株バリュエーション～日本株の妥当レンジを試算 |
| 22 | 2024/6/4 | 欧州経済 | 日米欧 Market View : ユーロ圏物価動向 |
| 23 | 2024/6/7 | 欧州経済 | 日米欧 Market View : ECB < 欧州中央銀行 > 理事会 |
| 24 | 2024/6/10 | 米国経済 | 日米欧 Market View : 5月雇用統計 |
| 25 | 2024/6/10 | 米国経済, 米国株 | 日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年6月) |
| 26 | 2024/6/13 | 米国経済 | 日米欧 Market View : 5月CPI |
| 27 | 2024/6/13 | 米国経済 | 日米欧 Market View : 6月FOMC |
| 28 | 2024/6/14 | 日本株 | 日米欧 Market View : 日本株需給 |
| 29 | 2024/6/19 | 米国経済 | 日米欧 Market View : 5月小売売上高 |
| 30 | 2024/6/20 | コモディティ | 日米欧 Market View : 銅価格 |
| 31 | 2024/6/21 | 日本株 | 日米欧 Market View : 日本株需給 (6月10日～6月14日) |
| 32 | 2024/6/25 | 日本経済 | 日米欧 Market View : 5月賃金オルタナティブデータ～HRog賃金Now |
| 33 | 2024/6/25 | 米国株 | 日米欧 Market View : SP500は楽観シナリオの下で6,200ptへ |

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。